

俺に百萬圓今直ぐに持つてくれば、あしたからでも鐵道はつけてやる。

俺はめんどくさいから、飛行機に乗つて往復するがね」

聴衆がムキになつて怒り出した。

刑事が、あれは社會主義者だから、僕を出しては不可なひと言つたんだそうだ。

「ダ、イスト、やれ〜」とはやす奴もある。

場内は騒然として來た。

すると樂屋から二人ばかり走り出て、僕の横に立つて、僕を紹介しだした。

新聞記者と頼さんだ。

「有名なダ、イストで、最近に歸朝されたんですから御靜聽を」とか慌て臭つて言ふ。

僕も馬鹿らしくなつたので、

「何を言つてもキサマ達には解らん。

觀音經でも聞け。

死に際に俺の顔を思ひ出すから」とか言つて、目をむいて見せて止めた。